

協定校留学【終了】報告書

※現地の様子や大学の風景、ご友人との写真を添付して頂けると大変参考になります。ご協力ください。

※帰国後1カ月以内に提出(送信)してください。

※津田塾大学海外留学(派遣・受入)奨学金受給者はこの報告書をもって奨学金受給者報告書とします。

留学先大学	Indiana University Purdue University Indianapolis	氏名	
国名	アメリカ合衆国	学籍番号	
留学期間	2021年 8月 ~ 2022年 5月	記入年月日	2022年 6月 12日

1 履修したすべての科目についてお書きください			
主な専攻分野: 英語(必修)、フランス語、経済学、金融学			
科目名	PRINCIPAL OF COMPOSITION EAP	科目名	EAP GRAMMAR
授業内容	英語の必須科目。ライティングの授業 ・project1:様々な構成で文章を書く(749words) ・project2:記事に対する評論を書く(1316 words) ・project3:記事を参考に意見を述べる(909words)	授業内容	文法の復習。
授業形式	対面	授業形式	対面
単位数	3	単位数	1
サイズ	20人程度	サイズ	15人程度
難易度 Course No.	130	難易度 Course No.	114
宿題の量	普通	宿題の量	非常に簡単な毎回課題が課される。
コメント	タームを通して三つのプロジェクトをこなす。丁寧に進めていく為、基礎的な能力が十分身に付く。プロジェクトを通して難易度が上がり、前プロジェクトで学んだことも内包して進んでいく為、復習も同時に出来る。常に下書きを何度も書き直し精査する作業が必要だが現地のスタッフの添削等も充実している為、非常に勉強になった。最後に自分でプロジェクトを見直すレポートも作成。	コメント	文法を初歩的な内容から全て復習していく授業。基本的に非常に簡単だが、日本の授業での教えていく順序や分類とは異なるため面白いと感じた。また稀に細かい文法やルール等、把握していないことも学習した。
科目名	ACADEMIC ENGLISH READING	科目名	SECOND-YEAR FRENCH
授業内容	readingの授業。文章の構成や筆者の意図を読み取る部分に重きを置いて授業が進められる。	授業内容	各章ごとに単語の復習、トピックとなる文法、文章を学習し復習、まとめのテストの繰り返し
授業形式	対面	授業形式	オンライン(対面も選べる)
単位数	3	単位数	3
サイズ	15人程度	サイズ	20人程度?
難易度 Course No.	111	難易度 Course No.	203
宿題の量	基本的に毎回課されるがそこまで多くない	宿題の量	非常に多い
コメント	前半は様々な段落の構成を把握し、理解することに重きを置いた授業。最初の英語テストで良い点を取れば理趣する必要がない授業。グループワークが多く、クラスメイトと接する機会が多かった為、授業を楽しめた。最終的にはグループプレゼンがあり、グループごとに課されるトピック記事を読み込んでアウトプットする方法も学ぶ。	コメント	文法やリーディング、会話練習が多く、実践的な授業。宿題が非常に多く、各章の終わりにはペアを組み、学習したフランス語を用いて10分程度の会話を録画して提出する必要があり、継続的かつ深い学習が求められる。津田でも三年間フランス語を履修していた為、文法等基礎的な部分は苦勞しなかったが覚える語彙の多さと会話する場面が非常に多かったことで苦勞した。

科目名	INTRO TO MACROECONOMICS	科目名	INTRO TO MICROECONOMICS
授業内容	マクロ経済学:教科書が指定されるが、授業では基本的に教授の話とパワポを中心に進む。テスト勉強で教科書が必要になる。	授業内容	ミクロ経済学:教科書が指定されるが、授業では基本的に教授の話とパワポを中心に進む。テスト勉強で教科書が必要になる。(左と同教授)
授業形式	対面	授業形式	対面
単位数	3	単位数	3
サイズ	30人程度	サイズ	50人程度
難易度 Course No.	202	難易度 Course No.	201
宿題の量	なし	宿題の量	なし
コメント	宿題はない。しかし代わりに小テスト5回、テスト4回とターム末テスト1回の全10回のテストが課され、その結果をもとにGPAが付けられる為、定期的に多大な学習が必要。またテスト勉強にパワポに加えて教科書を読み込む必要があるが、対応箇所が多く、全て読み込む作業が非常に大変だった。	コメント	マクロ経済学の教授による話が非常に面白く、勉強になった為、同教授の授業であるミクロも履修した。授業スタイルは左と同様であり、テストごとに入念な復習が求められる。宿題がないにも関わらず、大変な授業だったが、教授の話が非常に面白く、左同様とてもオススメの授業である。(教授名: Mohammad Kaviani)
科目名	FOUNDATIONS OF ACCOUNTING	科目名	MONEY AND BANKING
授業内容	会計学の基本	授業内容	通貨の分析や過去と現在の銀行制度の違い。また金融商品ごとの計算方法など、計算問題も多く求められた。
授業形式	対面	授業形式	対面
単位数	3	単位数	3
サイズ	60人程度	サイズ	15人程度
難易度 Course No.	200	難易度 Course No.	305
宿題の量	多い	宿題の量	非常に多い
コメント	各章ごとに基本的な単語や理解、基本問題、宿題と毎回の授業でこななければならない宿題の量が非常に多かった。加えて点数配分の大きいテストが3回あり、復習が大事。しかしその分計算方法や図表の扱いが定着し、良い授業だった。教授の授業自体は、パワポや資料等が豊富だったが分かりづらく、自分で学習し直していた。	コメント	3年生レベルの授業で非常に難解だった。毎週三つテスト(選択式、単語、記述)があり、授業の復習と教科書の読み込みが必須。基本的に教科書と授業は全く別で進み、両範囲からのテストが同時進行で進んだ。授業は録画もあり比較的的理解出来たが、教科書範囲に関しては一切の説明がなく、また3年生レベルなこともあり経済学と金融学の基礎的知識が求められ理解に苦労した。
科目名	READING, WRITING & INQUIRY	科目名	
授業内容	前期のセメスターのcompositionの授業の発展。 ・project1:写真分析→理論展開 ・project2:記事に評論→理論展開	授業内容	
授業形式	対面	授業形式	
単位数	3	単位数	
サイズ	20人程度	サイズ	
難易度 Course No.	131	難易度 Course No.	
宿題の量	普通	宿題の量	
コメント	前セメスターで履修したcompositionと基本的に同じ。最低でも5回はwriting centerにて添削をもらうことが課題として課される為(前セメスターも同様)、自然に様々な英語表現や単語の幅が広がり勉強になる。両方の授業を通して英語の作文力は非常に向上したと感じた。	コメント	

6	医療保険についてお書きください		
	渡航前に加入した保険		
	AIG損害保険(契約タイプ: TP3)		
	留学先大学にあった医療保険制度		
	大学独自の保険		
留学中に受けた診察(もし差し支えなければ記入してください)			
コロナに感染した際、電話にて状況を説明			
7	費用について教えてください(実際にかかった費用のみ記入してください)		
	(現地通貨)		
	渡航旅費	2,111	283,700 円
	帰国旅費	1,112	149,469 円
	引越し(往復で)	-	- 円
	保険	1,743	234,280 円
	語学研修費	-	- 円
	留学先学費	30,940	4,158,800 円
	本学学費	1,488	200,000 円
	教材費	400	53,766 円
	住居費	8,735	1,174,115 円
	食費	3,500	470,452 円
	その他()		円
	()		円
	()		円
合計	50,029	6,724,582 円	
換算率 (1dollar = 134 円)			
受給した奨学金(留学用、給付)があれば記入してください			
なし			
8	留学前の準備について教えてください		
	日本から持参すべきもの		
	<p>何でも現地で購入可能ではある為、これだけは持参すべき、と感じるものはない。 ある程度の衣服やパソコンがあれば十分だと感じる。現地で無駄な散財をしたくないならタオル等を持って行って良いと思う。また、自分は履修する授業に合わせて日本語の教材を持っていくと便利だと事前に聞いていたので、いくつか参考書や日本の授業で使った教科書を持って行ったが、習う範囲とずれていたり、多少は役立ったがそこまで使った記憶はないので、スーツケースの空きスペース次第で持参してもしなくても良いと思う。</p>		
留学前にしておけばよかったこと			
<p>履修したい授業の条件として、現地の他の授業の単位が取得済みである必要があった。前期のセメスターの授業を受ける際にはそのタームの授業だけでなく、ゆくゆく後半に取得したい授業まで見据えて授業を選ぶべきだったと後悔した。前生徒にAcademic advisorがつき、履修する授業の相談が出来るため、渡航前からよく相談しておくのと良いと思う。</p> <p>また数種類の予防接種を完了しておく必要があり、接種が完了していない場合は後期のセメスターの授業登録が出来ない。キャンパスの病院で接種可能だが、保険でカバーされず高額な料金を払わなければならなかった為、よく調べて接種完了してから渡航しておくのと良いと思う。</p>			

9	<p>適応しにくかったこと(学習面・生活面)があれば、記入してください</p> <p>学習面: とにかく日本の大学とは違って宿題、テストが多く、沢山勉強することが求められた。授業も週に2回が当たり前なので平日中もずっと課題やテスト勉強に従事している必要があった。大変ではあったが、その分しっかりこなしていれば各課題ごとに点数を稼ぐことが出来たのでGPAで良い評価は逆に日本の大学より得られやすかったと思う。また英語力の問題で現地生よりも絶対に苦労することになるが、内容自体が全て難解なわけではないので記憶するよりも理解することに重きを置いて学習すればテストでも良い結果を残せる。</p> <p>生活面: 何事もはっきり言うことや白黒つけることが求められることもあったので自分の意見を言うことが得意でない人には苦しい場面もあると思う。</p>
10	<p>留学の成果(学習面・精神面)を教えてください</p> <p>学習面: 経済金融の授業を学ぶことが楽しみであり、授業内容も理解が難しい場面もしばしばあったが、楽しんで学ぶことが出来たため、モチベーションを保つことが出来たと思う。特にマクロ経済学とミクロ経済学では教授の授業が非常に面白く、授業や復習でも特に力を入れて学習した結果、テストではほとんどクラス一位をとることができ、教授とも仲良くなることができた。その教授とは現在もやりとりをしており非常に良い経験になったと感じる。またその授業のならず、前述したように課題とテストが多い代わりに良い評価は取りやすいため、前期は前授業でGPA4.0を達成し、後期はGPA平均3.825で終わることが出来た。津田塾にはないような授業を履修したので多くのことを学べたと感じる。</p> <p>精神面: 慣れない環境で気づかないうちにストレスが溜まってしまい、苦労したことも幾度となくあったが、現地で築いた人間関係だったり日本の親しい友人にも相談しつつ解消していくことでやっていくことが出来た。</p>
11	<p>今後の学習計画および進路について(就職活動)教えてください</p> <p>就職活動は学業の傍ら取り組もうと思いつつも授業に精一杯で、米国に滞在している間はあまり活動できなかった。ポスキャリアは特に渡航後すぐに取り組まねばならず、授業にも慣れておらず、悪戦苦闘している中の本番だった為ほとんど何もできなかった。日本の本選考には授業を怠らないように時間があるかぎり参加しつつ、面接等々も参加していたが、やはり授業をメインに頑張ったこともあって日本にいる他の学生に比べたらとても出遅れていたと思う。しかし、帰国後集中して取り組んだら留学での経験や成果をかってもらえることも多く、一ヶ月足らずで第一志望を含め、三つほど内定を頂くことが出来た。帰国前から少しは就活を始めていた事と、渡米前に留学が中止されると思っていた為一度就職活動を経験していた事が功を奏したと感じるが、留学中は学業に集中しつつ、就職活動も無事終わることが出来て安心している。</p>
12	<p>留学を目指す後輩へのメッセージをお願いします</p> <p>履修する授業などは、幅広い分野とレベルから選ぶことが出来るので、学びを広げる絶好のチャンスです。もちろん現地の学生と英語で学ぶため、それだけでない緯度は高くなっていますが、だからと言って簡単な授業だけ選ぶのは勿体無いと思います。留學生活や学業以外の面に思きを置いて異文化理解を楽しみたいという人もいるかもしれませんが、海外の大学で学ぶせつかくの機会なので是非学びたいことに飛び込んで揉まれることで成長できると思うし、学びを深めることの楽しさも感じることが出来ると思います。履修する授業は一度聞いてから取るかどうか決めることも出来るため、アカデミックアドバイザーと相談しながら最適なものを見つけてみて下さい。</p> <p>また学業面以外でも素敵な出会いが沢山待っていると思います。ルームメイトやクラスメイト、友達の友達など色々な所に輪を広げるチャンスがあります。英語力への不安から最初は発言することを躊躇ってしまうこともあるかもしれませんが、皆英語力のことなんて全く気にしていないのでどんどん挑戦して下さい。英語力よりも何を話すかが大事です。自分も発音が下手で日本語のアクセントが抜けないことがずっと気がかりでしたが、アメリカは移民が沢山いて、多くの方が自分の国のアクセントの入った英語を話します。ネイティブとは違った英語だとしても、それは欠点ではありません。個性です。自信を持って飛び込んでみて下さい。</p>
13	<p>その他、ご自由に意見を書き込んでください</p> <p>就職活動が不安な中決行した留学でしたが、本当に本当に行って良かったと心から感じています。自分の学びが深まり、今すぐ出なくても将来アメリカの大学院に行きたいと言う目標も出来ました。現地で多くの人と出会うことが出来たし、親友を作ることも出来た。協定校として留学の機会を下さり、このような時期であるにも関わらず留学に行かせてくれた津田塾大学と国際センターにはとても感謝しています。留学を志している人にも是非、臆さず実行して欲しいと思います。</p>

※本報告書は国際センターホームページに掲載します。下記のいずれかに✓をしてください。

国際センターホームページへの報告書の掲載を

(許可する(写真含む) 写真掲載のみ不可 許可しない)

※Web掲載を許可する場合は、報告書は手書きではなくパソコン入力してください。

ホームページに掲載する際は、個人情報(学籍番号および氏名)は非公開とします。



↑ 雪の日に寮近くにて



↑ パーティーにて



← 別のパーティーにて

→ 水泳施設にて友人と
(大学附属の施設、寮生は無料)
(水泳が趣味の為定期的に泳いでいた)

